

LAMP[®]

折戸 KF111-H型 取付説明書

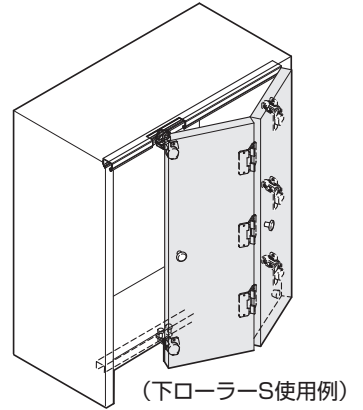
このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。取付作業前に本書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。取り付け後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

本製品について

- 家具用折戸の部品です。
- かぶせ仕様のため、扉でレールを隠せます。

正しく安全に取り付けていただくために

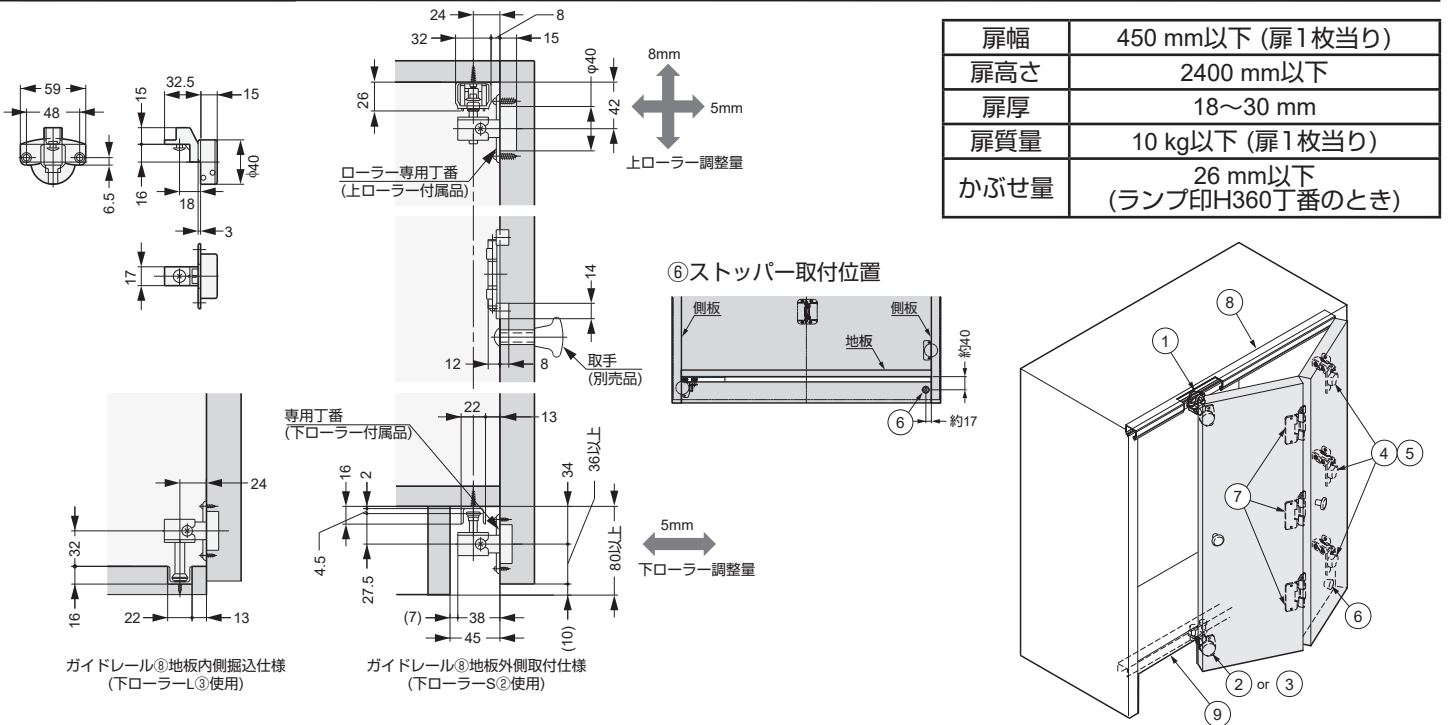
図記号の意味



注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。

- 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度のキャビネットを製作してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、扉が脱落してけがをすることがあります。本書で説明する部分以外の分解、および改造は行わないでください。
- 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。板の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- 本製品は家具を構成する為の部品です。取付終了後に、最終製品としての機能及び安全性をご確認ください。また、使用者へ家具を安全に使用するための注意事項を伝えてください。
- ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください(お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとを目安にしてください)。

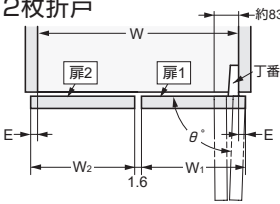
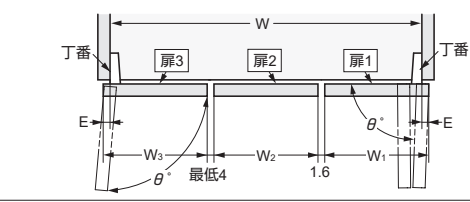
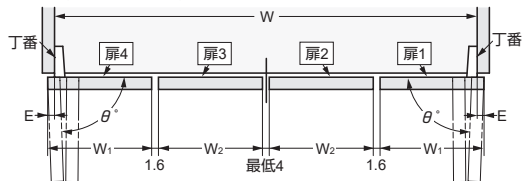
納まり寸法例



部品一覧

| | | | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|----------------------|--------------------|
| ① 上ローラー FD111-TRH 専用丁番 本体 | ② 下ローラーS FD111-BRSH 専用丁番 本体 | ③ 下ローラーL FD111-BRLH 本体 専用丁番 | ④ スライド丁番 H360-26-26T | ⑤ 丁番座金 360-P4W-32T |
| ⑥ ストッパー K-2017 | ⑦ センターヒンジ CH-75 | ⑧ 上レール | ⑨ ガイドレール | |

扉幅寸法

| 折戸形式 | 吊元90° 開き | 吊元95° 開き | 各扉幅寸 (87.5°) |
|---|--|--|---|
| 2枚折戸  <p>W : キャビネット幅内寸法 W₁ : 扉幅 (扉1、扉4) W₂ : 扉幅 (扉2、扉3) W₃ : 扉幅 (扉3) E : 扉両側のかぶせ量 θ° : 折戸吊元扉の開き角度</p> | $W_1 = \frac{W + 2E - 3.3}{2}$ $W_2 = W_1 + 1.7$ | $W_1 = \frac{W + 2E - 6.8}{2}$ $W_2 = W_1 + 5.2$ | $W_1 = \frac{W + 2E - 1.6}{2}$ $W_1 = W_2$ |
| 2枚折戸+1枚戸  | ● W ₃ = W ₁ のとき $W_1 = \frac{W + 2E - 7.3}{3}$ $W_2 = W_1 + 1.7$ ● W ₃ = W ₂ のとき $W_1 = \frac{W + 2E - 9}{3}$ $W_2 = W_3 = W_1 + 1.7$ | ● W ₃ = W ₁ のとき $W_1 = \frac{W + 2E - 10.8}{3}$ $W_2 = W_1 + 5.2$ ● W ₃ = W ₂ のとき $W_1 = \frac{W + 2E - 16}{3}$ $W_2 = W_3 = W_1 + 5.2$ | $W_1 = \frac{W + 2E - 5.6}{3}$ $W_1 = W_2 = W_3$ |
| 2枚折戸+2枚折戸  | $W_1 = \frac{W + 2E - 10.6}{4}$ $W_2 = W_1 + 1.7$ | $W_1 = \frac{W + 2E - 17.6}{4}$ $W_2 = W_1 + 5.2$ | $W_1 = \frac{W + 2E - 7.2}{4}$ $W_1 = W_2$ |

扉の加工寸法

図は右開きを示します。
 左開きは勝手違いとなります。

E₁ = 扉上側かぶせ量
 E₂ = 扉下側かぶせ量
 F = 扉下側すき間 (10 mm)

■取手 (別売品) について

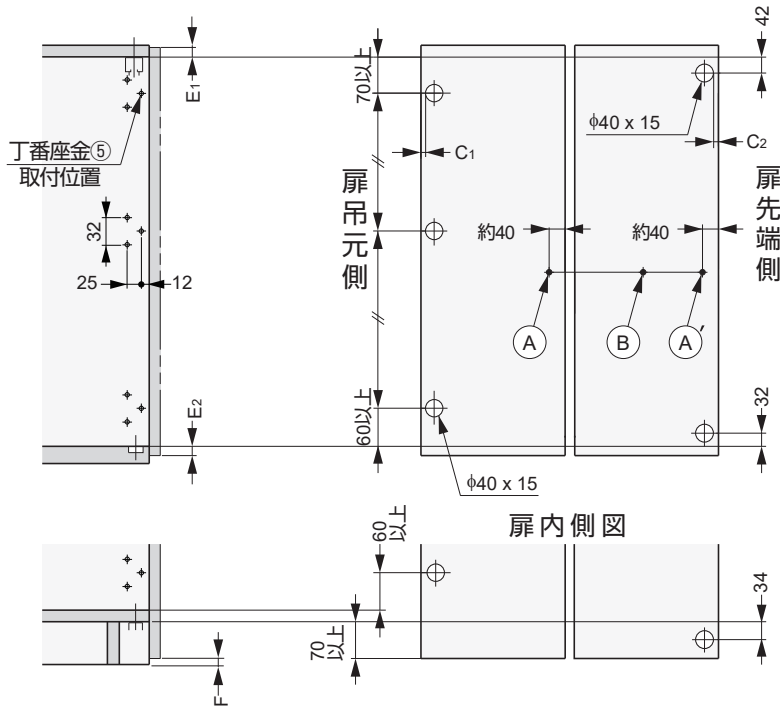
- ・取手位置は使い勝手の良い (A)、(A') の2ヶ使いをおすすめします (A : 開く時、A' : 閉じる時)。
- ・(B) 位置での1ヶ使いもできます。

| 扉高さ | 吊元丁番 (スライド丁番④ +丁番座金⑤) | センターヒンジ⑥ |
|---------|-----------------------------|----------|
| 900 mm | 2ヶ | 3ヶ |
| 1600 mm | 3ヶ | 3ヶ |
| 2000 mm | 4ヶ | 4ヶ |
| 2400 mm | 5ヶ | 4ヶ |

| かぶせ量 | 吊元側 カット量C1 | 先端側 カット量C2 |
|-------|---------------|---------------|
| 22 mm | 4 mm | 5 mm |
| 23 mm | 5 mm | 6 mm |
| 24 mm | 6 mm | 7 mm |
| 25 mm | 7 mm | 8 mm |
| 26 mm | 8 mm | 9 mm |

扉吊元のオープニング・クリアランス

| C1 (mm) | 扉厚 (mm) | | | |
|------------|---------|-----|-----|-----|
| | 18 | 22 | 26 | 30 |
| 4 | 0.1 | 0.5 | 1.2 | 5.0 |
| 5 | 0.1 | 0.5 | 1.2 | 4.0 |
| 6 | 0.1 | 0.5 | 1.1 | 3.0 |
| 7 | 0.1 | 0.5 | 1.1 | 2.1 |
| 8 | 0.1 | 0.5 | 1.1 | 2.0 |



取付手順

1 レールの切断

上下のレールを切断してください。
 長さ = W - 1.5

⚠ 注意

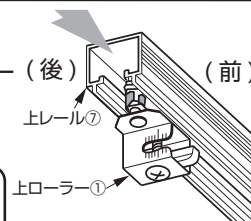
- ❶ 切りくずがレールの中に残らないように、きれいに取り除いてください。

2 レールの取り付け

レールを取り付ける前に上ローラー (後) を挿入してください。

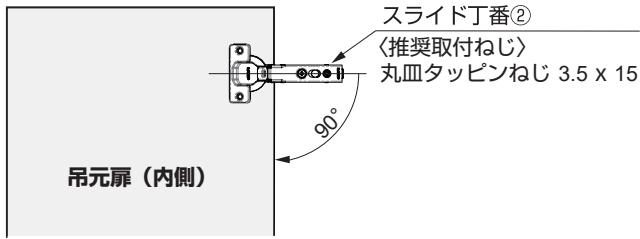
⚠ 注意

- ⚠ レールを取り付ける際、特に前後の平行度に注意してください。

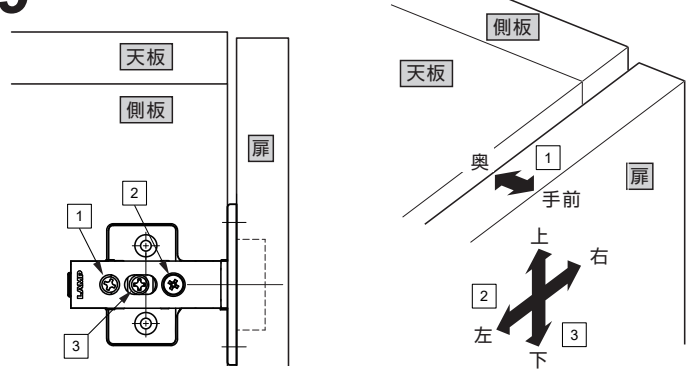


3 吊元丁番 (スライド丁番) の取り付け

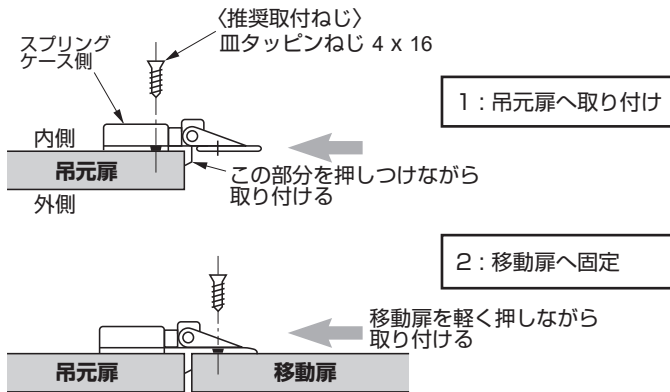
吊元丁番(スライド丁番④)を吊元扉に、上ローラー①、下ローラーS②または下ローラーL③の専用丁番を移動扉に取り付けてください。



9 扉の位置調整

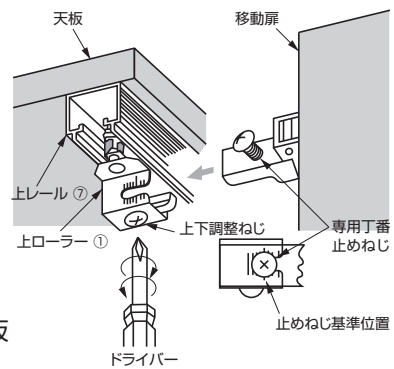


4 センターヒンジの取り付け



10 上ローラーの取り付け

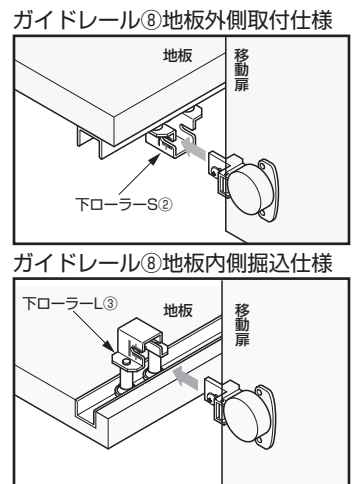
移動扉先端の専用丁番を上ローラーの溝に差し込みます。上ローラーがずれている時は、上下調整ねじで調整します。この時、扉はできるだけ全閉に近い状態で調整してください。



次に、専用丁番を上ローラーの止めねじ基準位置で仮止めしてください。

11 下ローラーの取り付け

同じく下ローラーを下レールに図の向きに入れ、丁番をさし込んで止めねじ基準位置で仮止めしてください。

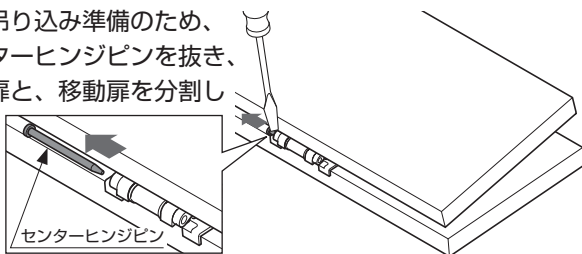


5 取手 (別売品) の取り付け

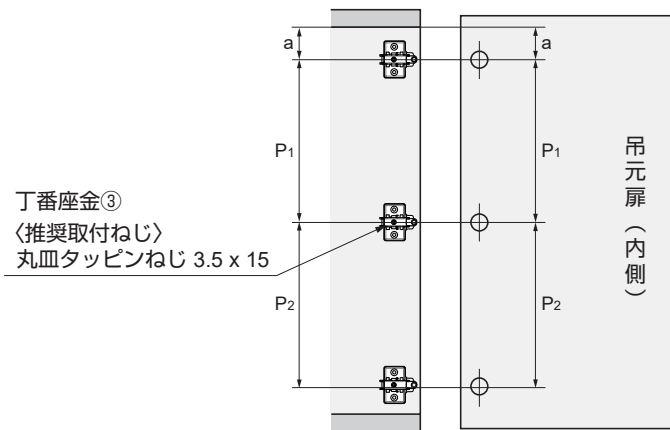
取付位置については P.2 「扉の加工寸法」 および P.4 「取手の操作方法」を参照して決めてください。

6 折戸の分割

扉の吊り込み準備のため、センターヒンジピンを抜き、吊元扉と、移動扉を分割してください。

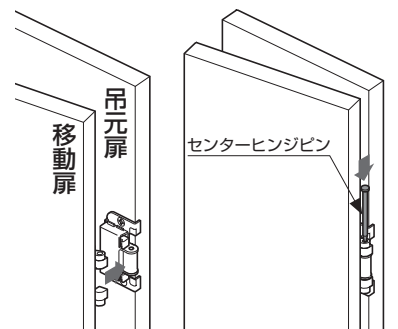


7 吊元丁番 (丁番座金) の取り付け



12 扉の連結

吊元扉と、移動扉を引き寄せ、センターヒンジを組み合せます。上からセンターヒンジピンを差し込み首下まで押し込んでください。



8 扉の吊り込み

適度な高さのかいものを扉の下に置き、スライド丁番④を順次、丁番座金⑤にかぶせるように「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

13 動作確認

取付終了後、扉を数回開閉して動作確認をします。開閉が引っぱりなくスムーズであれば、上ローラー①、下ローラーS②または下ローラーL③のねじを本締めして終了です。

⚠ 注意

① ねじに緩みがないか定期的に点検し、増し締めしてください。

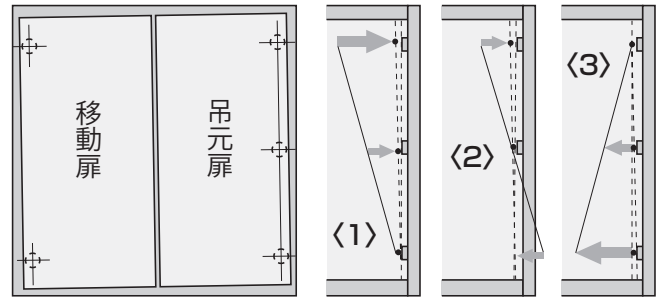
垂れ下がった扉の調整

扉全体が右図のように大きく垂れ下がっている場合、上ローラー①、下ローラーS②または下ローラー③の調整ねじで強制的に調整しないでください。P.3「9 扉位置の調整」により、上ローラー①、下ローラーS②または下ローラー③の本体と専用丁番を分離した状態で吊元丁番を再調整してください。

調整の方法は扉全体の納まり状況から3通りあります（右図参照）。

- 〈1〉 吊元上側の目地を狭くして下側の目地を合わせる。
- 〈2〉 吊元中央の目地に上下の目地を合わせる。
- 〈3〉 吊元下側の目地を広げて上側の目地に合わせる。

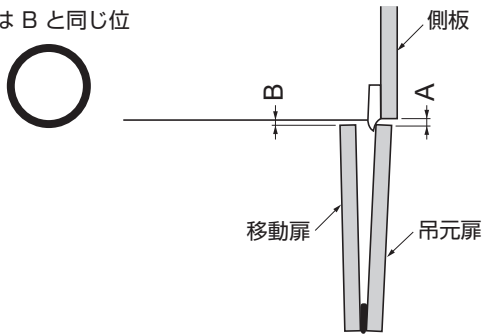
扉の納まり具合により該当する方法で吊元丁番の調整ねじを調整してください。



吊元丁番の再調整要領：矢印は調整量の割合と方向を示します

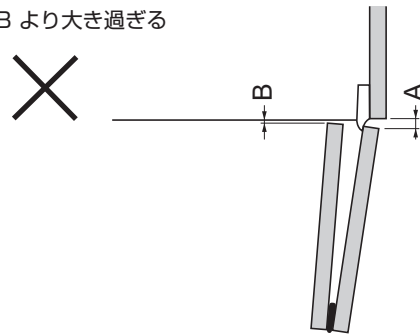
扉幅が同じ場合の注意事項

A は B と同じ位



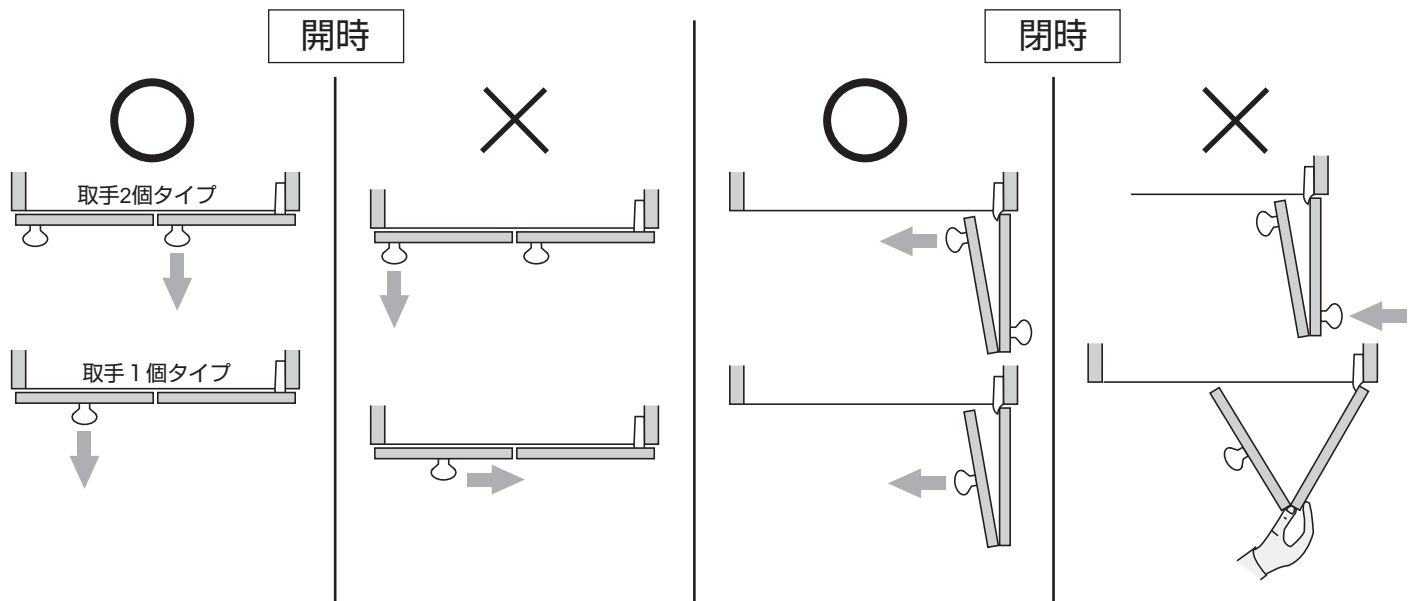
扉の前後調整の際、吊元扉の持ち出し量AはBと同じ位になるよう上ローラー①（専用丁番）と下ローラーS②または下ローラーL③の専用丁番を調整してください。図のように正しく開きます。

A が B より大き過ぎる



吊元扉の持ち出し量AがBより大きくなり過ぎると、図のように両扉が内側に傾き好ましくありません。この場合、すべての吊元丁番の取付ねじを少し緩め、吊元扉を上下同じように追いつ込んでください。それでも直らないときは移動扉の上ローラー①、下ローラーS②または下ローラーL③の専用丁番を前に出せば良くなります。

取手の操作方法



本製品に関するご質問・ご相談は、
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

TEL:03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30
E-mail: support@sugatsune.co.jp

2021.06. 0661-5